

学校インターンシップとは？

Q1 学校インターンシップとは何ですか？

A1 これまでの教育実習とは違って、大学生が早い段階（1・2年生）から、学校現場の実態に触れて、教員の仕事や生徒理解をすすめ、大学での学びを豊かにしていくものです。

Q2 誰が参加できるのですか？

A2 2019年度生から導入されたので、2019年度生と2020年度生のうち、「教職入門」を修得した者です。今年も後期からの実施になりますので、前期に「教職入門」を履修しているか、昨年度に修得済みの学生が対象です。

Q3 大学の単位になりますか？

A3 はい、なります。実習時間によって、1単位と2単位の科目があります。
⇒教育職員免許取得に必要な単位にはなりますが、卒業に必要な単位にはなりません。

Q4 どこの学校で体験できるのですか？

A4 大学と八王子市教育委員会とが協定を結んでおり、八王子市立中学校が中心となります。希望があれば、小学校や高等学校での体験も可能です。

Q5 どのくらいの期間、学校に行くのですか？

A5 1単位の場合は学校での体験活動が20時間以上、2単位の場合は40時間以上になります。後者の場合、毎週半日4時間の体験活動で10日間、2か月半程度で終わります。

Q6 体験活動以外に大学での講義もあるのですか？

A6 はい、事前指導・中間指導・事後指導を大学で行います。

Q7 学校ではどのような体験ができるのですか？

A7 大学としては、生徒理解や教員の仕事に触れてもらうため、授業を参観したり、学級担任や教科指導の補助をしたり、会議や研修会などへの参加も期待していますが、実際には体験先の学校と相談して決定します。

Q8 学校インターンシップを履修するための注意事項は何ですか？

A8 介護等体験や教育実習と同じく、対外的な信用に影響しますので、原則として、一度申し込んだら途中でやめることができません。また、学校には学生としてではなく、教員（実習生）として行きますので、服装や身だしなみ、言動などは社会人としての常識をわきまえる必要があります。また、多くの学生が5・6限に教職課程の科目を履修しているため、大学周辺の学校がお勧めです。後期の時間割を組む際に、どの曜日かの半日を空けておいてください。

Q9 学校インターンシップで学べることは何ですか？

A9 学校には様々な生徒がいること、教職員をはじめ多くの職員がそのために働いていること、生徒の時には見えなかったことを知ることができます。

Q10 具体的にどのように手続きを進めていけばよいのですか？

A10 履修したい学生は、6号館1階の教職課程センターに相談に来てください。履修申請書をお渡しします。決意が固まったら、1号館1階の教務課で履

修申請を行い、その後、事前指導を受けて、10月から体験先の学校に行きます。中間指導・事後指導もあります。

【注意】

- ・2020年度後期の履修に関する相談と教務課への申請については、8月14日(金)を締め切りとします。締め切りまでに申請書を教務課に提出するように注意をしてください。詳細については2部で説明をします。
- ・また、2020年度後期の学校インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症の流行状況により不開講とさせていただくこともありますので、ご承知おきください。

教職履修ガイダンス 資料7 教員採用試験対策スケジュール

1 教員になるまでの手順

- ・ 教員免許の取得
- ・ 私立学校適性検査 3年生 (M1)、4年生 (M2) (8月下旬)
- ・ 私立学校各校が行う採用試験 常勤講師・専任教員など
- ・ 公立学校採用試験 (一次試験は7月中旬)
- ・ 名簿登載 (1年間) 正式採用・期限付き採用 (補欠)
- ・ 校長面接 (正式採用) 小中の場合は、市区教育委員会面接あり
- ・ 試用期間 (1年間)
- ・ 最近の変化
 - 中高一括採用の増加、(例: 高校地歴・公民、中学社会)
 - 採用数の増加 (ここ数年がピーク)・倍率の若干の低下 (中高)
- ・ 免許更新制度 (10年毎)

2 教員採用試験の準備について

- ・ 私立学校適性検査
 - 専門 (教科・科目) 80分 教職教養 50分
- ・ 公立学校採用試験
 - 教職教養・一般教養・教科専門、論作文、面接 (集団面接・個人面接・集団討論)、模擬授業、指導案など、自治体によって異なる
- ・ 受験準備のスケジュール
 - 3年生の7月から、教職教養・一般教養・教科専門を固める (3月までに)
 - 10月から論作文の指導を開始する (週1回程度)。
 - 2月から面接・模擬授業などの指導を開始する (予定)。

3 教職課程センター (6号館 124室) で指導していること、できること

- ・ 論作文の指導
- ・ 面接・模擬授業の指導
- ・ 教科書、学習指導要領、教員採用試験対策本・雑誌、学生用PC・プリンター

4 いまやること

- 1 教職教養の入門問題をやってみる (教職課程センターに取りに来てください)。
- 2 自分の専門の学習・研究をしっかりと行う。
- 3 教職課程の授業を、「自分が教員であったらどうするか」考えながら受講する。
- 4 ボランティア活動などの機会を利用して、学校や生徒への理解を深める。
- 5 教科指導法の授業等で、「主体的・対話的で深い学び」の観点で授業案・模擬授業を構想できるように、授業実践集などで学習する。

1 教職の魅力

- ・子どもとともに成長する
- ・子ども的人格形成に影響を与える
- ・人間の魅力が最大限に活かされる
- ・言葉をかけ、手をかけ、心のかけた分だけ返ってくる
- ・平和と人権、民主主義を守り、理想を語る
- ・子どもは未来

2 学校のいま

- ・教育改革、学校改革
- ・かつて鍋蓋、いまピラミッド
- ・授業改善（主体的、対話的で深い学び）
- ・新たな課題、特別支援教育、子どもの貧困、ICT、地域との協働、SDGs など
- ・コロナ禍のなかで

3 教員の働き方改革

- ・日本の教員の長時間労働
- ・超勤 4 項目と時間外手当、給特法 4%（1966 年勤務状況調査をうけ 1971 年制定）
- ・中央教育審議会答申（2017 年 12 月 22 日）「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（中間まとめ）」
「これまで学校・教師が担ってきた代表的な業務の在り方に関する考え方」3 区分
- ・メンタルヘルスの重要性

4 これからの学校・教員

- ・教える専門家から学びの専門家へ
- ・生徒とともに学び続ける探求者
- ・研究的な視点をもつことの大切さ
- ・子どもの権利条約（1989）
- ・教員の地位に関する勧告（1966）、教員の役割と地位に関する勧告（1996）